

日本地理学会公開シンポジウム

山岳科学の創出

—山岳地域の諸問題を分野横断で俯瞰する—

特別講演

祝日「山の日」制定とこれから：磯野剛太（全国山の日協議会理事長）

一般講演

中部山岳地域における最近数10年間の気候変動：鈴木啓助（信州大）

地生態系サービスとしての山岳の水供給機能：山中 勤（筑波大）

崩れゆく山々と土砂災害の軽減：今泉文寿（静岡大）

最終氷期における気候変動と山岳生物の集団動態の歴史：津田吉晃（筑波大）

気候変動に対する高山植物の応答：工藤 岳（北海道大）

北アルプス高山帯へのニホンジカの進出と季節移動：泉山茂之（信州大）

山岳スポーツのリスクマネジメント：村越 真（静岡大）

山岳研究の研究動向—Mountain Research and Development誌の分析を事例に—：横山 智（名古屋大）

山岳科学の世界展開と日本の現状・課題：渡辺悌二（北海道大）・上野健一（筑波大）

シンポジウムのみ参加は入場無料です

2017年3月29日（水）13:00～17:00

会場：筑波大学第三エリア3A204（茨城県つくば市）

TXつくば駅より筑波大学中央行または筑波大学循環バスで第三エリア前下車
東京駅八重洲南口より筑波大学行高速バス終点下車